

中国国境地域の移動と交流：近現代中国の南と北

著者	塚田 誠之
発行年	2010-03-30
URL	http://hdl.handle.net/10502/4800

中国国境地域の 移動と交流

— 近現代中国の南と北 —

塚田誠之
編

人間文化叢書

ユーラシアと日本 — 交流と表象 —

塚田誠之編

『中国国境地域の移動と交流——近現代中国の南と北——』

目次

序 文 中国国境地域の移動と交流をめぐるつて……………塚田誠之 1

第I部 移動のあり方、移動と交流・民族間関係

一 華人の移動とその目的……………陳 天璽 15
——世代・地域別比較の試み——

二 人の流動と民族間関係、文化的アイデンティティの動態……………長谷川清 45
——雲南ビルマルト、徳宏傣族の事例——

三 中国広西壮（チワン）族とベトナム・ヌン族との交流とイメージ……………塚田誠之 84

四 一九世紀前半、雲南南部地域における漢族移住の展開と山地民社会の変容……………武内房司 117

五 モンゴル帝国期におけるアス人の移動について……………赤坂恒明 144

第II部 移動と文化・アイデンティティの変容

一 雲南ムスリム移民が取り結ぶ社会関係と宗教実践の変容……………木村 自 177
——台湾への移住者を中心に——

二 近代雲南ムスリムのイスラーム改革と変容するアイデンティティ……………松本ますみ 206

三 ユーミエン（ヤオ）の国境を越えた分布と社会的文化的変差……………吉野 晃 237

第Ⅲ部 移動と国家政策

一 アジア周縁社会における移住と国家権力……………	片岡 樹	261
——華南・東南アジア山地民ラフの事例から——		
二 「中国少数民族」のデイスコース……………	谷口裕久	285
——「ミャオ（苗）族」の低位集団をめぐって——		
三 清代モンゴルにおける旗籍離脱と清朝統治……………	岡 洋樹	305
——ウラド後旗と広覚寺の属民争奪の経緯からみた旗民の地位——		
四 「民族分裂主義者」と「中華民族」……………	楊 海英	342
——「中国人」とされたモンゴル人の現代史——		